

ABE KOGYO

施工説明書

施工業者様用

EXTRA

内装ドアユニット

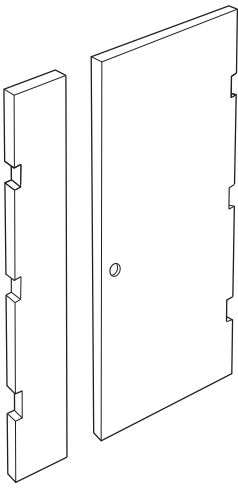

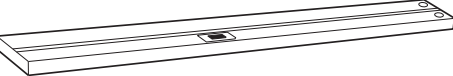
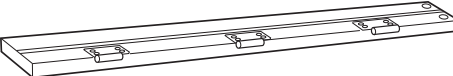


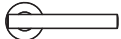


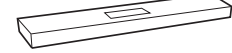

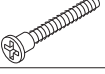

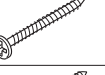

ハイドア片開・ハイドア親子


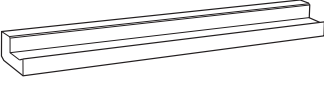
このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

！

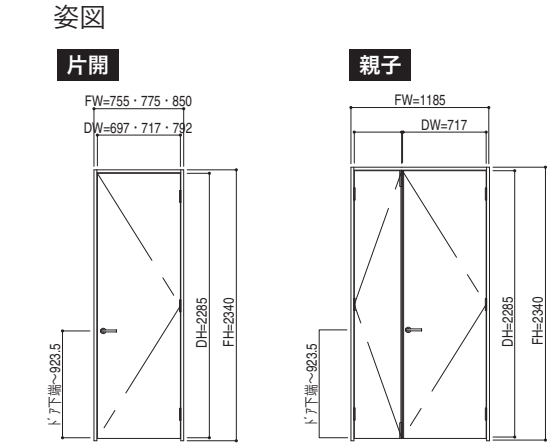
施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付け方をしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

扉 梱 包		別 梱 包	
扉本体 (親子ドアの場合、 子扉1本が別梱包 となります。)		上枠 (1) (親子1)	
		縦枠 (1) (親子0)	
		縦枠 (1) (親子2)	
		縦用戸当り (丁番側) (1) (親子2)	 <div>・縦用戸当り (丁番側)</div>
		縦用戸当り (レバーハンドル側) (1) (親子0)	 <div>・縦用戸当り (レバーハンドル側)</div>
レバーハンドル (1)		上戸当り (1) (親子1)	 <div>片開親子</div>
丁番取付けビス (8) (親子16)		幅定規 (1) (親子1)	
丁番ケースカバー(3) (親子6) 扉側丁番(上中下)(3) (親子6)		枠組立てビス (4) (親子4)	 <div>シルバー (10×50mm)</div>
扉吊込補助ゴム (1) (親子2)		調整ビス (4) (親子4)	 <div>アンバー (4.5×50mm)</div>
		躯体取付ビス (8) (親子8)	 <div>シルバー (4.2×62mm)</div>

ケーシング梱包(ケーシングタイプのみ)				
ケーシング STタイプ ※固定枠には 付きません。	STタイプ	縦	4	
		横	2	

納まり図《片開・親子》



《品番構成》

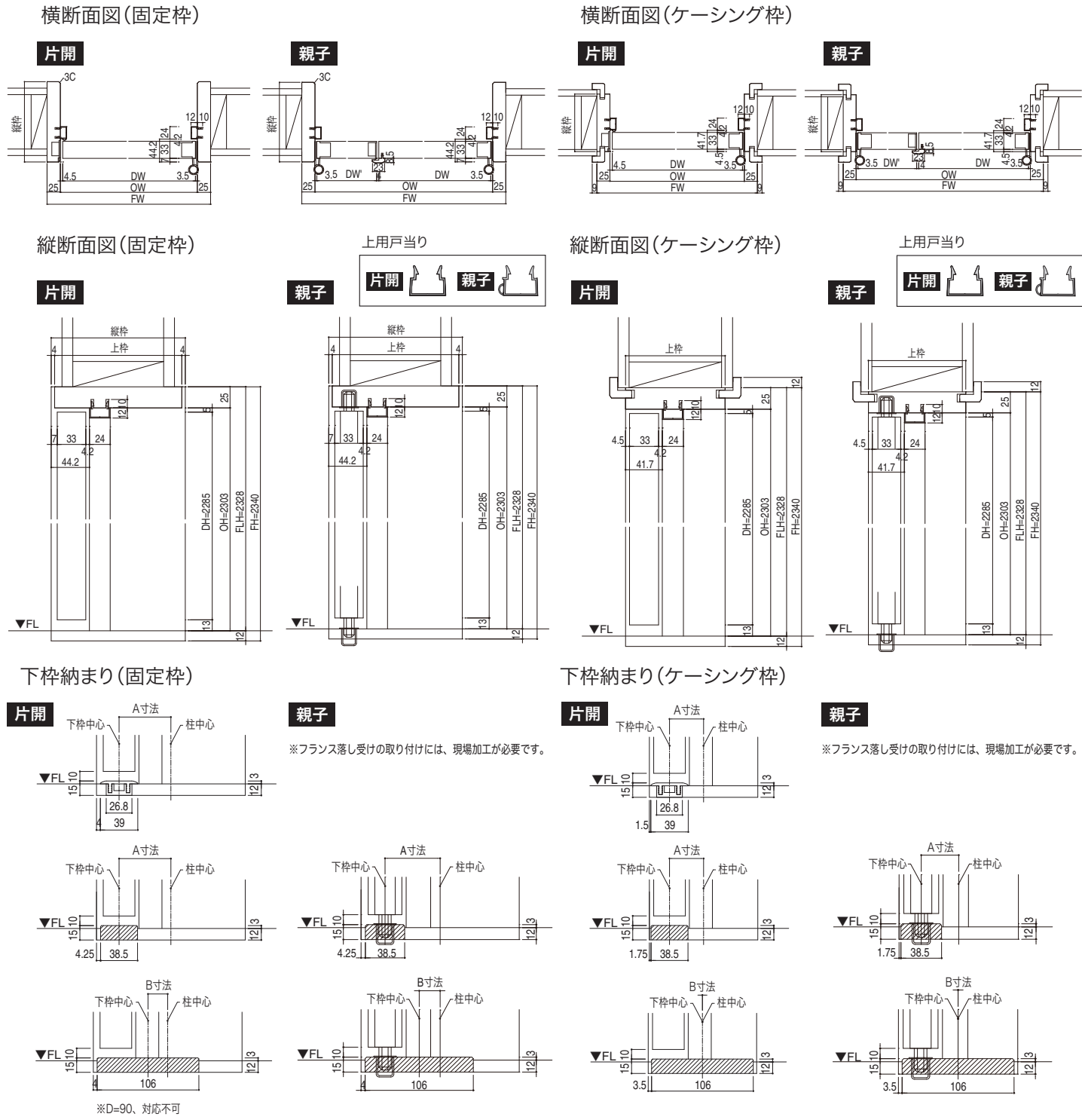
UHX1 - ○ - △ - □ (R・L)

FHX1 - ○ - ↓ - □ (R・L)

固定枠	○	枠見込	△	FW(枠外)	H	□	
	T	90mm	S	755mm	2340mm		
	W	114mm	X	775mm			
	S	155mm	M	850mm			
	L	175mm					
ケーシング枠	PF(A~C)	113mm				R	
	QF(E~G)	150mm				L	

色品番

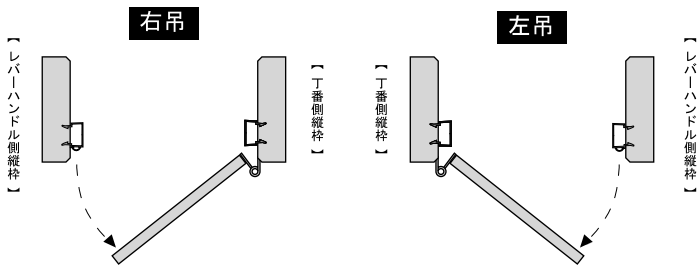
R	右吊元
L	左吊元



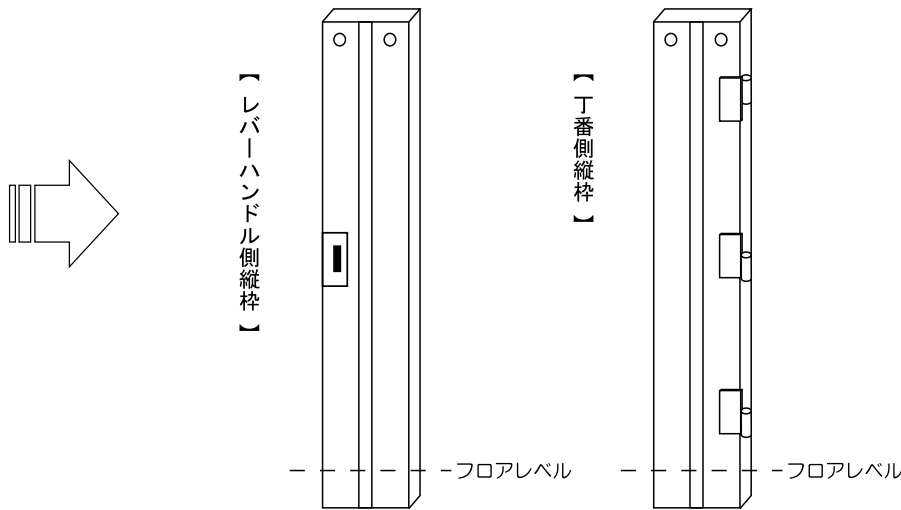
取付け順

1. 枠の組立て

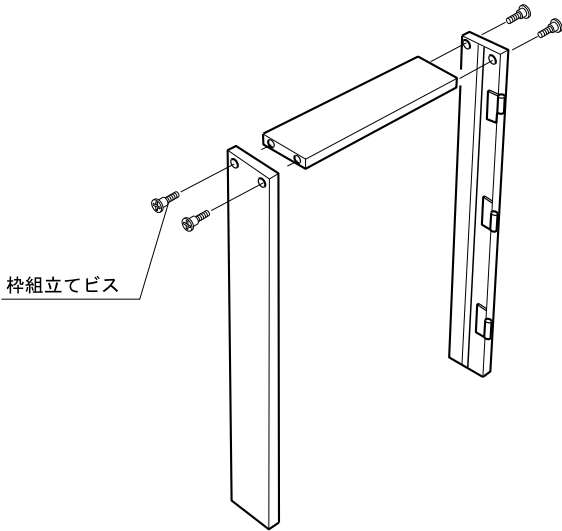
①ご希望の開き方を下の図を参考に選択して下さい。



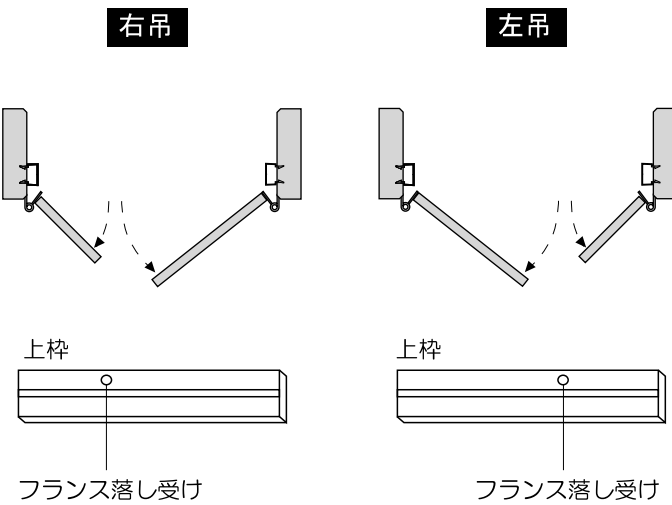
②必要に応じて下端カットしてください。



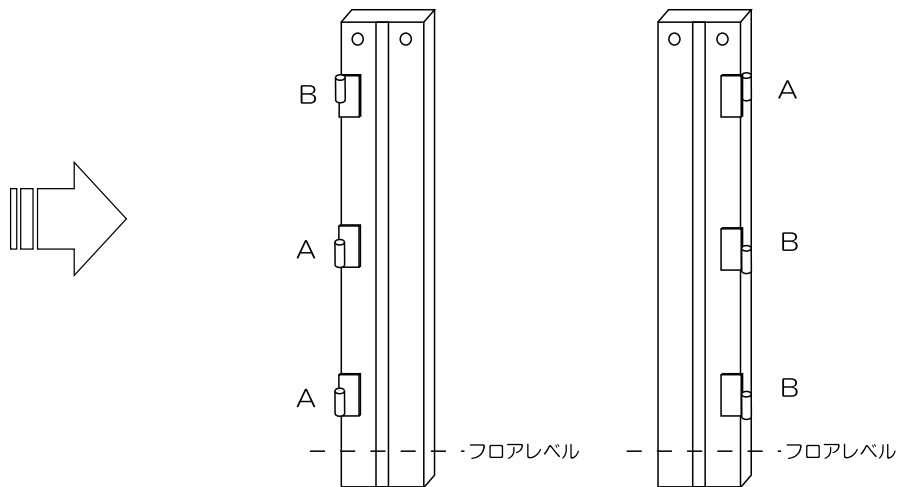
③同梱の組み立てビスで横枠と縦枠を固定して下さい。



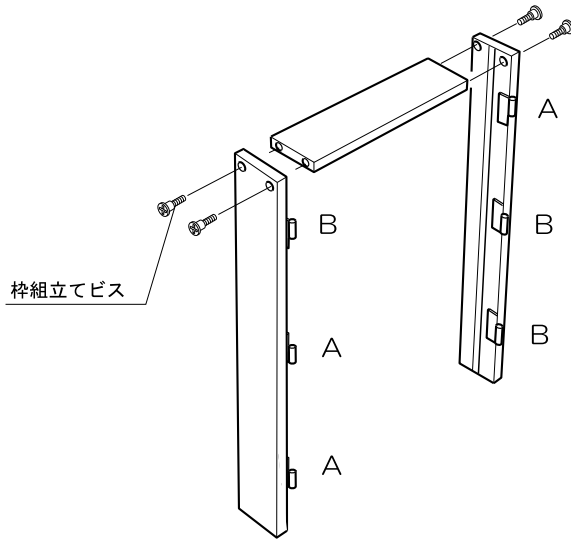
①ご希望の開き方を下の図を参考に選択して下さい。



②必要に応じて下端カットしてください。

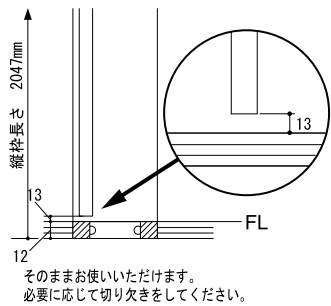


③同梱の組み立てビスで横枠と縦枠を固定して下さい。

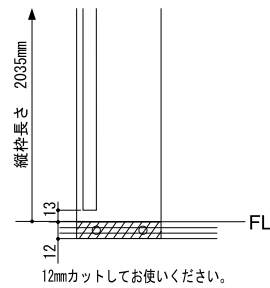


<参考>縦枠カット寸法

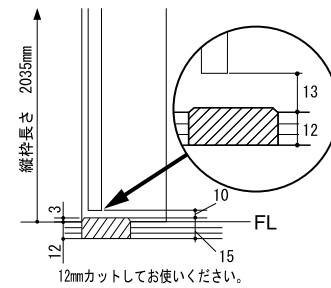
①12mm床埋め込み



②フロア直置き



③フロア直置き（下枠施工時）



2. 枠の取付け

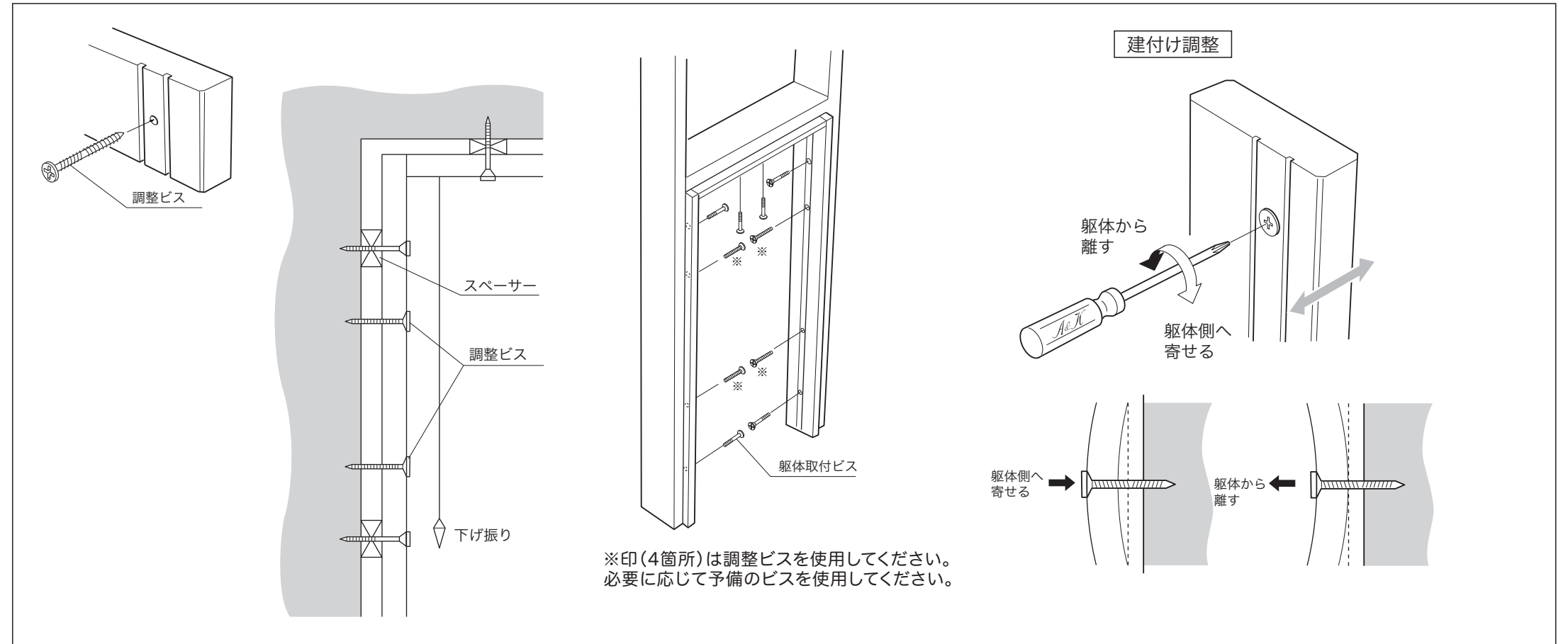
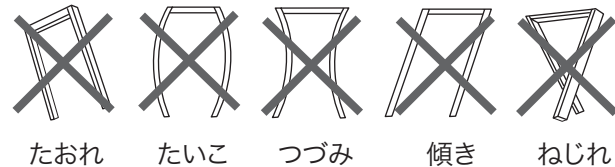
- ①開口部の水平・垂直を確認してください。
- ②躯体取付けビスと調整ビスを使って、枠を取付けてください。
- ③幅定規で内法を確認し、調整ビスで建付け調整をしてから本固定してください。
- ④調整ビスの使い方
 - 調整ビスは、枠の固定と調整を兼用するビスです。
 - 調整ビスで、枠の下穴より躯体に取付けてください。（プラスドライバー使用）
 - 下げ振りなどで建付けを確認しながら、プラスドライバーでビスを回して調整してください。

【ハイドア親子の場合】

- ⑤フランス落としの下用受けつぼを、幅定規で位置を確認しビスで固定してください。

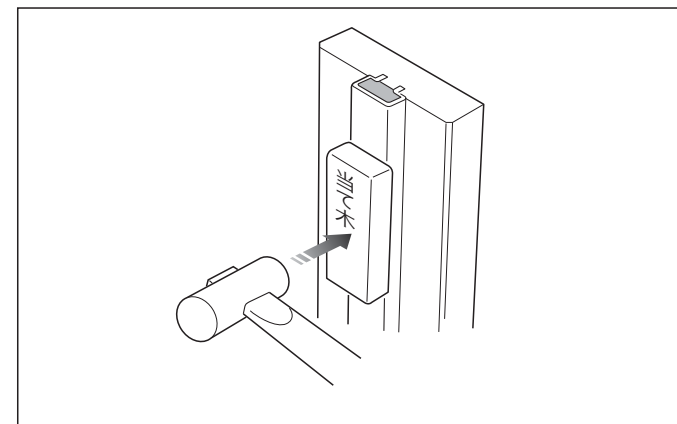
注意 調整ビスによる調整は、必ずボードを貼る前に行ってください。

※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



3. 戸当りの取付け

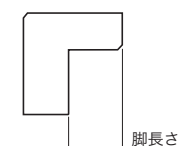
- ①枠の2本の溝に接着剤を入れ、当て木などを添えて打込みます。
- ②初めに、上戸当りを取付けてください。
- ③縦用の長さは、現場合せのうえカットしたのち、取付けてください。



4. ケーシングの取付け(ケーシング枠の場合のみ)

壁・床の施工が終了した後、現場寸法に合わせてカットしてケーシングを取付けてください。
●ケーシングの納め方は縦勝式です。
※形状に縦用と横用がありますので注意してください。
縦ケーシングの高さ寸法を決め、カットして取付けてください。横ケーシングの長さ寸法を決め、カットして取付けてください。横ケーシングも適正寸法を現物に合わせて確認し、カットしてください。

ケーシングには、脚の長さが3種類あります。
壁厚など現場仕様 に合わせて、使い分けできます。

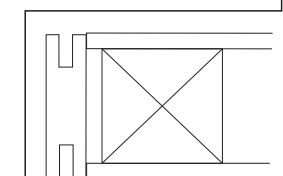


《ケーシング品番》

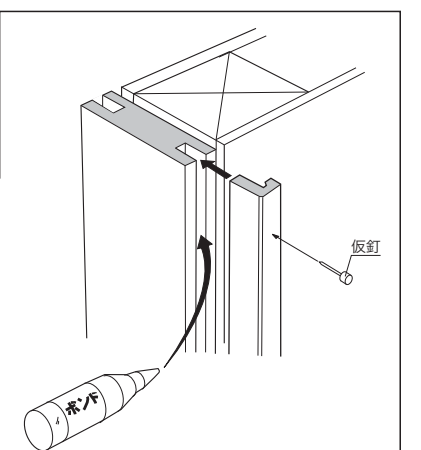
CX - ○2 - 82 - □

○	脚長さ
A	10mm
B	16mm
C	23mm

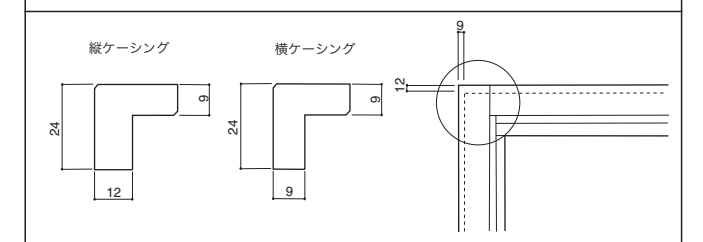
枠のケーシング用溝に接着剤(木工用ボンド・現場手配)を塗布し、固定してください。



*枠はボード面より2mm程度下げて取付けてください。

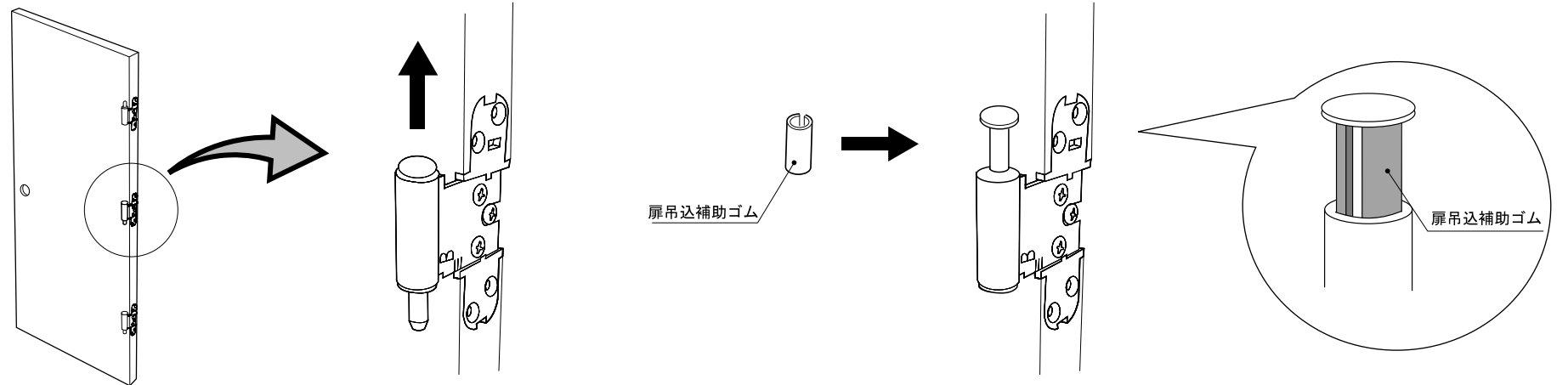


ケーシング(縦勝式)



5. 扉の吊込み

- 丁番とレバーハンドルの取付けは、レバーハンドルの部品箱の付属の説明書をご覧ください。
- 扉側丁番、丁番ケースカバー、丁番取付けビスは、レバーハンドルの部品箱に同梱してあります。
- 扉へ丁番を取付けた後、中央の丁番の芯棒を引き上げ、付属の“扉吊り込み補助ゴム”を付けて芯棒が下がらないようにして下さい。
- 下の丁番を枠側に差し込み、上の丁番を芯棒を引きながら枠側に差し込んで下さい。
- 枠への取付けが完了した後、“扉の吊り込み補助ゴム”をはずして下さい。

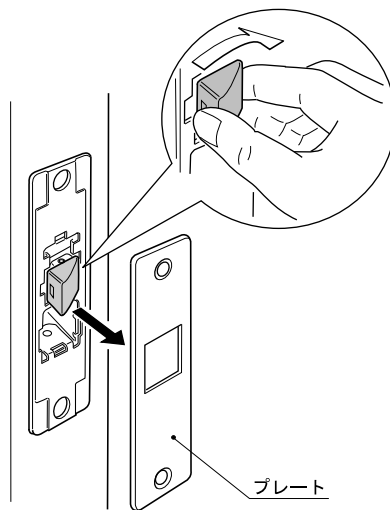


注意

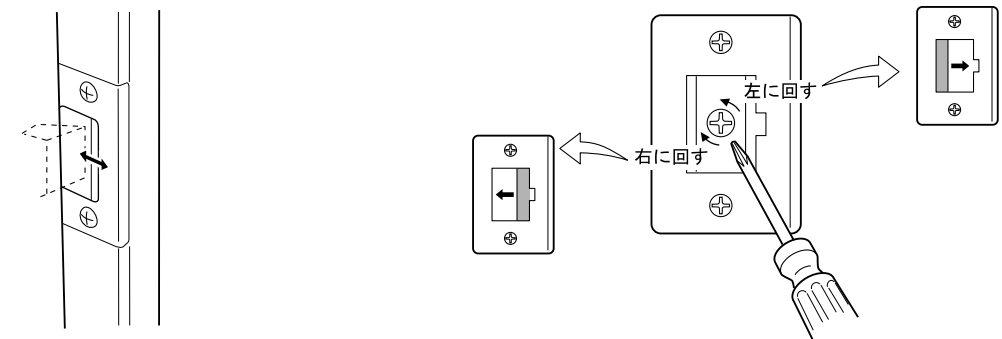
- ① 一度扉を吊り込み、扉がスムーズに開閉できるかを確認してください。
- ② 扉の保護のため、扉を一度取りはずし建築工事完了後に再度吊込むことをお勧めします。

6. 建付け調整

- ラッチの向き 左吊の場合にはプレートをはずして、ラッチの向きを反対にしてください。
(標準は右吊用になっています。)



- 丁番 レバーハンドルの箱に同梱してある丁番の説明書をご覧ください。
- ストライク ラッチがストライクの中でガタついたり、ストライクにかからないときは、ストライクの調整を行ってください。±2.5mmの調整が可能です。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆ すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
 - ◆ 取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
 - ◆ ネジのゆるみや枠のガタツキがないか確認してください。
 - ◆ ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※取付けが完了しましたら、扉が他の現場工事によって破損しないように「養生マット」をご利用ください。
- ※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引き取っていただくようご協力をお願いいたします。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れをおとし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。